

5月のどきどき

福祉用具を

送り続けて15年

あかね自治会の高齢者が加入するあかね生き生きクラブでは、会員が空き缶や古新聞などを回収、売却した収益金で車いすなどの福祉用具に交換し福祉施設に寄贈してきました。その活動が今年で15年目。5月8日、レストラン柴楽で車いすの贈呈式が行われ、今年はいサービセンターに届けられました。



甘い

アサヒメロン初出荷

5月9日、安平町の特産品「アサヒメロン」の初出荷が安平町野菜集出荷場で行われました。

生産者は、追分アサヒメロン組合の林出一樹さん、稲井義勝さん、二又哲雄さんの3名。計25箱が出荷され、翌日10日の札幌市中央卸売市場の初セリでは、15万円（1箱5玉入り「秀」ランク）で取引されました。

地域で守る尊い命

5月13日、下校する児童が安全に帰宅できるようにと地域で活動を行う子どもサポーター隊の活動が今年も始まりました。追分地区では5月から10月まで通学路の交差点に立ち、子どもたちを見守ります。早来地区でも同様に、通学路で児童・生徒を見守るサポーター隊が活動します。

サポーター隊の皆さんには、「こんにちは」と元気よく挨拶をする子どもたちの声が何よりの活力ですね。



恒例 遠浅小学校で田植え

5月24日、毎年恒例となった遠浅小学校（全校生徒47名）の田植え体験が行われました。この田植えは、阿部修一さん（早来新栄）の田んぼの一部を借りて行われており、今年でなんと24年目。

新1年生も阿部さんや上級生の指導を受けながら、全校児童が協力して取組む様子が伺えました。田植えを終えた児童は、「上手に植えられて楽しかった」と満面の笑みで感想を話してくれました。



一般社団法人

あびら観光協会設立

安平町観光協会は、平成20年に両地区それぞれの観光協会が合併して以降、任意団体として活動してきましたが、本年4月1日、一般社団法人として設立されました。これにより、資金の借入や旅行業への登録などが可能となることから、町の観光分野の発展が期待されます。

第1回目総会は、5月26日に開催され、平成28年度の事業計画や収支予算が採択されました。



写真提供：苫小牧民報社